



今年も みんな で 雪またじ

今年も雪国・飛騨に冬の足音が近づいてきました。安全に冬を越すためにも、みんなで「雪またじ」をすることが大切です。

雪国ならではの相互扶助で成り立つ「雪またじ」。ぜひ、地域での助け合いや支え合いにご協力をお願いいたします。
*またじ:「片付け」という意味の方言

問合せ 維持課 ☎35-33340
各支所基盤産業課

■市が行う除雪

毎年除雪計画を作成し、除雪路線や出動基準、実施方法を決めます。

通常、積雪が10センチメートルを超えると除雪車が出動し、午前7時を目途に作業を終えます。引き続き作業する場合は、混雑時を避けるなど、大きな交通渋滞を起こさないよう配慮して行います。このほか、必要に応じて凍結防止剤の散布作業もします。

日本一面積の広い高山市の除雪作業は、時間との闘いです。より多くの道を除雪するため、道路脇に雪をかき分ける方法で作業しています。

しかし、約1,900キロメートルもある市道全てを除雪しきれないのが現状です。

除雪の要望は町内でとりまとめたいただき、地域の状況をご連絡ください。

■皆さんへお願い

暮らしの安全のために、次の7つについてご理解・ご協力をお願いいたします。

①通学路の除雪

通学路や横断歩道、バス停周辺の除雪、凍結防止剤の散布にご協力ください(歩道除雪は市も行っていません)。

*凍結防止剤は、町内会を通じて市が無償配布しています。

②雪を流すときの配慮

一度にたくさんの雪を側溝に流すと、下流で詰まり水があふれます。細かく砕き、少しずつ流しましょう。

③家の周りの除雪

道路の除雪をする時、かき分けられた雪が玄関先などに残りまます。家の前などの除雪をお願いします。

*寄けた雪は車道や歩道に出さないでください。

④ごみステーションの除雪

利用する皆さんで除雪をお願いします。



⑤路上駐車やみだし駐車禁止
除雪作業が遅れたり、事故の原因になります。駐車場所に気を付けましょう。



⑥絶対に除雪車に近づかない
作業中の除雪車はとても危険です。絶対に近づかないようにしてください。また、子どもや高齢者が近くにいる場合は目配りをお願いします。



⑦雪の押し込み場所にご理解を
交差点付近や角地などの空き地や農地に、除雪した雪を押し込むことがあります。所有者の皆さんのご理解をお願いします。

なお、雪を押し込むと困る場所には目印をつけてください。



■自分で雪またじができない場合は?

①商工会議所や各商工会に有料業者を紹介してもらう

②町内会長や民生児童委員に相談

*①②ができない人で、雪おろしボランティアを希望する場合は社会福祉協議会(☎35-0294)にご相談ください。